

「海技免状・小型船舶操縦免許証等の弾力的な運用について」

1. 弾力措置の期間及び対象

新型コロナウイルス感染症対策に関連して、船舶職員及び小型船舶操縦者法に基づく免許申請、更新申請、再交付申請又は海技試験の受験申請のうち、当該申請を行うことができなかったことについてやむを得ない事情がある者について、当分の間、弾力措置を講じます。

この場合、やむを得ない事情を記載した書類を申請時に提出してください。

(下記 理由書を参照)

2. 弾力措置の内容

(1) 海技免許又は小型船舶操縦免許の申請

海技免許又は操縦免許の申請は、海技試験又は操縦試験に合格した日から1年以内にしなければならないところ、1年を超えても申請できるようにします。

(2) 海技免状又は小型船舶操縦免許証の更新申請

令和2年2月17日以降に海技免状又は操縦免許証の有効期間（5年間）が満了する者のうち、その更新申請時において、有効期間が満了してしまっている者については、有効期間満了日に更新申請があったものとみなします。

この場合において、海技免状更新講習又は操縦免許証更新講習により更新を行うおうとする者に係る取扱いは、次のとおりです。

[更新講習関係]

- ① 更新講習は更新申請日以前3月以内に修了しなければならないところ、更新申請日において、3月を超過しているものは、有効期間満了日に講習を修了したものとみなします。
- ② 有効期間内に更新講習を修了することが困難である旨の申し出を受けたときは、現に有する海技免状又は操縦免許証を打ち抜きの上、受講予定の講習までの期間を記載した有効期間更新手続中シールを貼付します。この場合、可能な限り速やかに更新講習を受講するようお願いいたします。新たな海技免状又は操縦免許証は更新講習の修了証明書と引き替えに交付します。
- ③ 有効期間内に更新講習を修了できなかった者のうち、更新申請時まで、更新講習を修了した者は、有効期間満了日に更新講習を修了したものとみなします。

理 由 書

令和 年 月 日

国土交通大臣 殿

申請者 生年月日 _____
本籍地 _____
現住所 _____
電話番号 _____
署 名 _____

海技免状・小型船舶操縦免許証等の申請について、下記の理由により申請を行うことができませんでした。

記

1. 申請内容 (該当に○印)	免 許 ・ 更 新 ・ 失効再交付
2. 海技免状・操縦 免許証の番号等	番 号 : _____ 有効期間満了日 : 令和 年 月 日
3. 申請できな かった理由 (該当する番号を ○で囲み、下線部 分に該当する月 日を記入してく ださい)	1. <u>新型コロナウイルス感染症対策のため令和2年 月 日</u> ～ 月 日まで外出を控えており、更新講習を期日まで に受講することができなかった。 2. <u>令和2年 月 日</u> に更新講習を受講する予定だったが、 新型コロナウイルス感染症対策の影響で、当該講習が中止と なり、期日までに講習を受講することができなかった。 3. <u>令和2年 月 日</u> に講習を受講したが、新型コロナウイルス 感染症対策のため外出を控えており、期日までに申請が できなかった。 4. その他 (コロナウイルス感染症対策に関連して申請ができ なかったことについて、具体的に記入してください)

以 上